

2017年10月30日 日本テレビ 定例記者会見

《 要 旨 》

< 発表 >

・ 映画「We Love Television?」

「We Love Television?」は11月3日公開。萩本欽一さんを取り上げたドキュメンタリー映画で、日本テレビの土屋敏男の初映画監督作品。萩本さんの人柄、個性、魅力が映像の中にあふれており、とても素晴らしい映画になっているので、ぜひご覧いただきたい。

・ NNN 衆院選特番「ZERO×選挙 2017」について

10月22日に放送したNNN 衆院選特番「ZERO×選挙 2017」の枠切りが確定した。それぞれの視聴率は以下のとおり。

PART 1 【19:58～21:00】世帯：10.2%

PART 2 【21:00～23:30】世帯：8.9%

PART 3 【23:50～25:50】世帯：4.3%

1. 視聴率動向と編成戦略

・ 視聴率データ

先週は6週連続の視聴率三冠王で、年間では40回、年度は29回の獲得。全日では203週連続の1位で民放の記録を更新している。月間視聴率も47カ月連続の三冠王だ。

・ 視聴率戦略・改編等に関して

10月期の改編はドラマが中心で、それぞれが良い作品だと思う。これからの視聴率の動向にも期待している。スッキリなど一部出演者の入れ替えもあったが、ここまでのところ期待通りの結果が出ていると思っている。

2. 営業状況

・ 放送収入

9月の営業状況は、タイム、スポットともに前年を少し上回る程度で着地した。上期の状

況については間もなく決算発表があるため控える。

・ 放送外収入

放送外では映画「22 年目の告白」や「メアリと魔女の花」等の映画興行成績が良く、昨年と比しておおむね良かったと言える。また、前期で 30 近くのイベントを行ったが、いずれも収支はよかった。

3. その他

・ 仮装大賞に関して

仮装大賞の司会は従来どおり萩本欽一さんと香取慎吾さんに決定した。放送日等の詳細は後日発表する。

・ 選挙報道について

今回の衆議院選挙に関しては、突然の解散、野党のさまざまな動きもあり、有権者の関心はとても高かったと思う。日本テレビの一連の選挙報道は、従来通り政党や候補者を選択するための判断材料になるよう、政策を中心にさまざまな角度から解説・評論する内容になっていたと思う。そうした番組づくりが、視聴者からも支持されたと受け止めている。BPO の質的公平性を求める意見については、その意見が出る前から選挙報道の前提として行っており、意見によって特別な方針を決めて報道にあたったということはない。

・ 海外展開について

先日、東京ドラマアウォードで、トルコでリメイクされた「Mother」が海外ドラマ特別賞を取った。「Mother」のリメイクは世界 12 か国以上で放送が決定している。引き続き、日本テレビの良質な番組を海外にも進出させていきたい。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

中山良夫 取締役 執行役員

福田博之 執行役員 編成局長

(了)